

第4章 社会教育・家庭教育

第1節 学校と家庭・地域との協働の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

1 「いわて教育の日」推進事業

(1) 趣旨

県民の教育に対する关心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るために、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行う。

- ・ いわて教育の日 11月1日
- ・ 教育週間 11月1日～7日

(2) 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

令和6年度「いわて教育の日」のつどい

テーマ 『学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり』

～自分らしい生き方の実現に向けた 新しい時代のいわての教育～

期日 令和6年11月1日（金）

会場 トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館） 中ホール

参加者 県内教育関係者、県民、生徒等 約350人

内容 第1部 開会行事

- ・開会行事
- ・教育表彰（事績顕著者表彰）

第2部 児童生徒による発表

- ・合唱 盛岡市立山岸小学校
- ・和太鼓 県立宮古水産高校 太鼓部

第3部 講演

- ・講師 国立教育政策研究所 研究企画開発部 総括研究官
千々布 敏弥 氏

- ・演題 子どもの育つ姿と授業・学校のあり方

司会 私立盛岡白百合学園高等学校 2年 中本 真央 さん

(3) 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2か月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

2 教育振興運動

「岩手県『地域学校協働活動・教育振興運動』推進5か年プラン」（令和2年度～令和6年度）は、「地域学校協働活動」と「教育振興運動」を総合的かつ一体的に推進することにより、「学校を核とした地域づくり」や「地域とともにある学校づくり」の実現を図ろうとする令和2年度から5年間の推進計画であり、最終年度となる令和6年度は、「目指す子どもの姿」の実現に向け、地域全体に取組を広げるなど、実践の充実、事例等の共有が各地域で進められた。

また、教育振興計画と連動しながら、児童生徒の現状を踏まえ、全県的に改善すべき課題の共通理解を図り、本県及び各地域における教育課題の解決に向けた取組を促進することを目的として、教育振興運動推進プラン（2024～2028）を策定した。運動の60周年を契機に教育振興運動60周年記念大会を開催し、全県共通課題である「家庭学習の充実」「体験活動の充実」に対する理解促進及び課題解決に向けた機運醸成を主なねらいとして運動を進めた。

（1）県段階における推進活動

ア 幹事会

- ① 期日 令和7年2月19日
- ② 会場 県庁R階 P1多機能会議室
- ③ 内容
 - ・令和6年度教育振興運動推進事業の実施状況について
 - ・令和6年度教育振興運動推進状況調査について
 - ・令和7年度以降の教育振興運動の推進について

イ 市町村担当者研修会

- ① 目的 教育振興運動と地域学校協働活動の取組を総合的かつ一体的に推進するための方策等について理解を深め、「学校を核とした地域づくり」の実現に資する。
- ② 期日・参加者 令和6年6月6日・71人
- ③ 方法 参集とオンラインによるハイブリット開催（配信場所：生涯学習推進センター）
- ④ 内容
 - ・行政説明「教育振興運動推進プラン（2024～2028）について」
 - ・事例紹介「情報メディア出前講座」（青少年活動交流センター）について

ウ 地域とともにある学校づくり推進フォーラム

- ① 目的 「地域とともにある学校づくり」に資するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）や地域学校協働活動の効果的な取組事例の発表等を通じて、各地区における円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入や導入後の運営の在り方について理解を深めるために、本研修会を開催する。

② 概要

教育事務所	期 日	会 場	参 加 者	内 容
盛岡地区	6月7日	姫神ホール	187人	趣旨説明、パネルディスカッション、ワークショップ
中部地区	7月9日	生涯学習推進センター	108人	趣旨説明、基調講話、対談、演習（熟議）
県南地区	7月3日	前沢ふれあいセンター	152人	行政説明、パネルディスカッション、講義・演習
沿岸南部地区	7月2日	三陸公民館	86人	パネルディスカッション、ワークショップ
宮古地区	9月4日	宮古市民文化会館	87人	趣旨説明、実践発表、講演、ワークショップ（熟議体験）
県北地区	6月20日	久慈市文化会館	119人	趣旨説明、事例発表、パネルディスカッション

エ 「学校を核とした地域づくり」の推進に係る訪問支援

- ① 内容 地域学校協働活動の充実及び推進体制の整備等を目的とした教育事務所による訪問支援

- ② 方法 管内市町村の求めに応じて訪問

オ 公立小中学校及び県立学校の校内体制における「地域連携窓口教員（地域教育担当教員）」の位置づけ周知

- ① 教育基本法及び学校教育指導指針の趣旨を踏まえ、「学校、家庭及び地域住民の連携協力」を推進する「地域連携窓口教員」の位置づけを周知
- ② 「地域連携窓口教員」の設置状況調査の実施（令和6年8月調査）

※ 公立小学校・公立中学校・県立高校・県立特別支援学校 全て100%

カ 教育振興運動60周年記念大会

- ① 期日・参加者 令和7年1月14日（火）・740人
- ② 会場 トーサイクラシックホール岩手・大ホール

③ 内容 高校生による作文発表、標語コンテスト表彰、趣旨説明（生文課）、ガイダンス（学教室）、事例発表（釜石市立大平中学校、紫波町教育委員会）、記念講演（國學院大學人間開発学部 教授 鈴木 みゆき教授）

（2）市町村段階における推進活動

ア 推進組織の状況 (合計36市町村・地区)

教育振興運動単独組織で推進	16市町村・地区
教育振興運動とは別の組織で推進	12市町村・地区
教育振興運動の組織と別の組織の両方で推進	8市町村・地区
推進組織はない	なし

イ 実践組織の状況

（ア）実践組織の数

区分	数(割合)
小学校区	170(38.4%)
中学校区	97(21.9%)
公民館区	39(8.8%)
町内会区	39(8.8%)
その他	98(22.1%)
計	443

（イ）実践組織が取り組む主題の数（延べ数）

区分	主題の数	区分	主題の数
学習活動	604	勤労体験	176
社会参加	539	国際理解	60
自然体験	189	スポーツ・レクリエーション	178
郷土芸能	238	情報メディア	342
文化・芸術	179	復興教育	151
生活・健康	554	その他	94
世代間交流	311	計	3,615

3 地域学校協働活動（学校支援地域本部）事業

学校と地域の連携・協働体制を構築し、学校教育の充実とともに地域の教育力向上を図るために、国庫補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」の活用により地域学校協働活動（学校支援地域本部）事業を実施した。

（1）岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進会議

ア 会議の開催（令和6年7月5日、令和7年1月28日）

イ 地域学校協働活動推進員研修会（令和6年8月9日 50人）

ウ 地域学校協働活動推進員地区別研修講座【盛岡】（令和6年10月4日 24人）
 【中部】（令和6年6月11日 35人）
 【県南】（令和6年11月19日 20人）
 【沿南】（令和6年10月3日 17人）
 【宮古】（令和6年11月20日 24人）
 【県北】（令和6年10月2日 24人）

エ 学校と地域の連携・協働研修会（令和6年8月8日 82人）

オ 現地視察（岩谷堂小学校地域学校協働活動）

（2）市町村ごとの事業実施状況（家庭教育支援講座）

市町村名	講座数	市町村名	講座数	市町村名	講座数
盛岡市	—	西和賀町	1	山田町	87
八幡平市	—	奥州市	—	岩泉町	—
雫石町	—	金ヶ崎町	12	田野畠村	—
葛巻町	—	一関市	—	久慈市	20
岩手町	—	平泉町	9	普代村	3
滝沢市	—	大船渡市	7	洋野町	4
紫波町	5	陸前高田市	—	野田村	—
矢巾町	—	住田町	—	二戸市	40
花巻市	—	釜石市	—	軽米町	17
遠野市	14	大槌町	—	九戸村	—
北上市	—	宮古市	—	一戸町	—
					計 219 講座

第2 豊かな体験活動の充実

放課後子供教室の推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に取り組んだ。

1 放課後子供教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子供教室事業を実施し、子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所づくりを進めた。（国庫補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を活用して実施）

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進会議

- ア 会議の開催（令和6年7月5日、令和7年1月28日）
- イ 地域学校協働活動推進員研修会（令和6年8月9日 50人）
- ウ 地域学校協働活動推進員地区別研修講座【盛岡】（令和6年10月4日 24人）
【中部】（令和6年6月11日 35人）
【県南】（令和6年11月19日 20人）
【沿南】（令和6年10月3日 17人）
【宮古】（令和6年11月20日 24人）
【県北】（令和6年10月2日 24人）
- エ 学校と地域の連携・協働研修会（令和6年8月8日 82人）
- オ 現地視察（岩谷堂小学校地域学校協働活動）

(2) 市町村ごとの事業実施状況（放課後子供教室）

市町村名	子供教室数	市町村名	子供教室数	市町村名	子供教室数
盛岡市	(4)国から補助	西和賀町	—	山田町	—
八幡平市	—	奥州市	12	岩泉町	—
雫石町	—	金ヶ崎町	1	田野畠村	—
葛巻町	4	一関市	16	久慈市	9
岩手町	—	平泉町	3	普代村	6
滝沢市	3	大船渡市	—	洋野町	1
紫波町	—	陸前高田市	11	野田村	1
矢巾町	4	住田町	2	二戸市	6
花巻市	—	釜石市	6	軽米町	3
遠野市	—	大槌町	2	九戸村	4
北上市	3	宮古市	1	一戸町	5
※ ()は県から市町村への間接補助以外の教室数				計※	103(4)教室

2 少年団活動の支援

(1) 子ども会等少年団体の組織状況

団体名	団体数	会員人数	
日本ボーイスカウト岩手連盟	8	297	(令和6年5月1日現在)
ガールスカウト岩手県連盟	8	141	(令和6年5月1日現在)
岩手県子ども会育成連合会	12	47,148	(令和6年5月1日現在)

(2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者養成事業／プログラム事業
ガールスカウト岩手県連盟	指導者養成及び指導者研修／教育プログラム
岩手県子ども会育成連合会	ジュニアリーダー育成／各地域子ども会育成組織支援

3 青年団体活動の支援

(1) 組織状況（令和6年5月1日現在）

[単位：団体、人]

団体名	構成団体数	会員数
岩手県青年団体協議会	2	30

(2) 事業内容

ア 第71回岩手県青年大会

(ア) 体育部門

期日……令和6年8月3日（土）～4日（日）

場所……葛巻町ほか

(イ) 文化部門

期日……令和6年9月3日（日）

場所……岩手県青少年会館

イ 第72回全国青年大会

期日……令和6年11月8日（金）～11日（月）

場所……東京都内

4 青年教室・講座（令和5年度実績（「令和6年度社会教育基本調査」））

項目	開設数	参加者数	内 容
30人以上で20時間以上	0教室(0市町村)	0人	1 人間関係に関すること
30人以上で10～20時間	0教室(0市町村)	0人	2 市民性、社会性に関すること
上記以外	52教室(13市町村)	3,133人	3 職業、家庭に関すること
合 計	教室(13市町村)	3,133人	4 郷土理解に関すること 等

5 青少年教育施設の利用状況

(1) 県立青少年の家

ア 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

（生活方針）「規律」「友情」「協同」「奉仕」

イ 利用者数

[単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	663	26,752	31,269
陸中海岸青少年の家	416	15,263	18,920
県北青少年の家	411	19,895	22,263
計	1,490	61,910	72,452

ウ 県北青少年の家スケート場利用者数

[単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	180	444	624
小学生・中学生	3,269		
高校生・大学生・一般	1,478	12,022	16,769
計	4,927	12,466	17,393

エ 類型別延利用者数

[単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
指定管理者の自主事業		1,982	1,883	4,622
教育研修・指導者養成等		817	998	440
学校利用	大学・短大	446	148	130
	各種学校	246	24	0
	高等学校	533	660	144
	中学校	1,458	1,331	503
	小学校	5,259	3,441	7,672
地域団体利用	サークル(勤労青年)	28	0	0
	サークル(一般)	470	1,372	0
	子ども会	3,495	324	1,033
	スポ少団体	3,362	2,823	985
	児童館・公民館	1,004	813	0
	幼稚園・保育園	1,296	1,982	593
企業体		568	600	16
その他		10,305	2,521	6,125
合 計		31,269	18,920	22,263

(2) 県立野外活動センター

ア 運営の基本方向

恵まれた自然環境の中で、各種の野外活動、スポーツや協働宿泊生活などを行い、県民の明るく、豊かな生きがいのある人生を創造する。

また、研修での体験を通じて、規律・協調・友愛・奉仕の精神を養い、主体的に豊かな青少年の健全育成を図る。

イ 利用者数

[単位：団体、人]

利用団体数	実利用者数	延利用者数
450	21,449	28,551

ウ 類型別実利用者数

[単位：人]

教育研修・指導者養成等		1,513
学校利用	大学・短大	585
	各種学校	0
	高等学校	2,602
	中学校	9,352
	小学校	5,081
地域団体利用	サークル(勤労青年)	0
	サークル(一般)	194
	子ども会・親子	516
	スポ少・スポーツ団体	4,652
	児童館・公民館	1,343
	幼稚園・保育園	48
企業体		1,479
その他		1,186
合 計		28,551

第2節 子育て支援や家庭教育支援の充実

第1 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援とともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

1 学習機会の提供

保護者等が集まる多様な機会を活用して、子育てや家庭教育に関する学習機会を提供した。

(1) 親子共同体験推進事業

- ア 趣旨……親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを促進する。
イ 期日……令和6年5月～令和7年2月
ウ 内容……各県立青少年の家・県立野外活動センターにおいて、野外炊事、自然体験活動等の親子共同体験事業を実施した。

(2) 効果的な学習機会の提供（国庫委託・補助事業として実施）

- ア 趣旨……保護者を対象に、関係機関団体等との連携のもと、広域的な教育課題に即した学習内容及び先進事例やワークショップ等を通じた学習方法を提供する。
イ 期日……令和6年4月～令和7年3月
ウ 内容……紫波町、遠野市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、大船渡市、山田町、久慈市、洋野町、普代村、二戸市、軽米町の12市町村において、家庭教育支援に関する講座等の学習機会を提供した。

2 学習情報の提供と相談体制の充実

子育てに不安や悩みを抱える保護者等に対する相談窓口の整備充実を図るとともに、家庭教育に関する親の学習活動を促進するため学習情報や学習資料を提供した。

(1) 家庭教育子育て電話・メール相談

- ア 子育て電話相談「すこやか電話相談」
(ア) 趣旨……家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話による相談を行い、家庭教育の充実を図る。
(イ) 開設場所…生涯学習推進センター
(ウ) 開設期間…通年
(エ) 開設日時…平日 10:00～17:00 (国民の祝日、年末・年始は除く)
(オ) 電話番号…0198-27-2134
(カ) 相談件数…1,157件

[単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合	相談領域	相談件数	割合
健康・安全	31	2.7	虐待・育児不安	19	1.6
しつけ全般	33	2.9	心理・性格	388	33.5
遊び・友だち	15	1.3	集団生活・社会性	34	2.9
家庭環境	41	3.5	学習・進路	20	1.7
知能・ことば	1	0.1	人間関係	126	10.9
いじめ・不登校	51	4.4	発達障がい	20	1.7
			その他	378	32.7
			計	1,157	

イ 子育てメール相談「すこやかメール相談」

- (ア) 趣旨……家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く保護者等に対して、ＩＴを活用した（メール）相談を行い、家庭教育支援の充実を図る。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 開設日時…365日24時間
- (オ) 返信時間…平日 10:00～17:00 （国民の祝日、年末・年始は除く）
- (カ) 携帯サイトアドレス…kosodatem@pref.iwate.jp
- (キ) 相談件数…87件

[単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合	相談領域	相談件数	割合
健康・安全	5	5.7	虐待・育児不安	14	16.1
しつけ全般	12	13.8	心理・性格	7	8.0
遊び・友だち	2	2.3	集団生活・社会性	7	8.0
家庭環境	6	6.9	学習・進路	4	4.6
知能・ことば	0	0	人間関係	4	4.6
いじめ・不登校	4	4.6	発達障がい	7	8.0
その他				15	17.3
計				87	

ウ 子育てメールマガジン「すこやかマガジン」

- (ア) 趣旨……ＩＴ（メール、ＳＮＳ）を活用して、子育て・家庭教育に関する話題や情報を探し、家庭教育支援の充実を図る。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 配信日時…毎週木曜配信
- (オ) 配信先数…5,002（令和7年3月末現在）

（2）家庭教育手帳周知

乳幼児から小・中学校の子どもをめぐる家庭教育の課題や家庭教育に関する学習機会、相談窓口等に関する情報を提供した。（電子データによる提供周知）

第2 子育てや家庭教育を支える環境づくりの推進

地域において子育てに悩む親等の相談を受けたり、子育てグループを支援したりする子育てサポートや地域人材の資質向上を図るとともに活用促進のための仕組みづくりを行った。

1 家庭教育支援体制整備

- (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進会議（国庫補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を活用して実施）
- ア 国庫委託事業の基本の方針等について 令和6年7月5日（金）
- イ 国庫委託事業の成果・課題等について 令和7年1月28日（火）

（2）「家庭教育・子育て支援担当者研修会」

- ア 主管…生涯学習推進センター
- イ 期日…令和6年5月27日（月）
- ウ 内容…基調講演、行政説明、講演
- エ 対象…行政担当者、学校関係者、地域子育て支援拠点関係者等（133人）

(3) 「子育て・家庭教育相談セミナー」
ア 主管……生涯学習推進センター
イ 期日……①令和6年9月6日（金）、②令和6年11月28日（木）
ウ 内容……①講義、事例研究 ②講演、質疑応答
エ 対象……相談機関担当者、家庭教育支援担当者、子育て支援担当者、子育て支援関係者、幼稚園・保育園・認定こども園関係者、学校関係者等（①196人、②624人）

(4) 「地域安全防災研修会」
ア 主管……生涯学習推進センター
イ 期日……令和6年9月11日（水）
ウ 内容……説明、講義、演習
エ 対象……行政担当者、地域づくり団体関係者、教職員等（25人）

2 子育てサポーターのスキルアップと支援関係者のネットワーク強化

(1) 「地区家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会」

ア 主管……各教育事務所
イ 期日……令和6年10月
① 10月10日 盛岡教育事務所 (37人)
② 10月7日 中部教育事務所 (47人)
③ 10月17日 県南教育事務所 (37人)
④ 10月18日 沿岸南部教育事務所 (36人)
⑤ 10月24日 宮古教育事務所 (19人)
⑥ 10月18日 県北教育事務所 (48人)

ウ 内容……説明、講演、演習、実践発表等
エ 対象……行政関係者、県子育てサポーター、子育て支援関係者、学校関係者等

第3節 生涯にわたり学び続ける環境づくり

第1 多様な学習機会の充実

健康志向の高まりや医療体制の充実等により、人生100年時代を迎える中、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたって学習を継続できる環境づくりが求められていることから、学びの機会等に関する情報の集積・提供や学習ニーズに個別に応じた学習相談、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりに取り組んだ。

1 生涯学習推進体制の充実

(1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度以降、全委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

ア 期日

第1回 令和6年7月18日 第2回 令和7年1月24日

イ 出席

第1回 委員15人中12人出席 第2回 委員15人中11人出席

ウ 内容

(ア) 令和6年度主要施策について（生涯学習文化財課、学校教室、保健体育課、県立生涯学習推進センター、県立図書館、県立博物館、県立美術館、県立野外活動センター）

(イ) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進について

(ウ) 令和7年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について

(2) 生涯学習推進体制調査

市町村における生涯学習推進体制等に関する状況を調査し、調査結果を県ホームページ及び岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」において公開した。

ア 実施時期 令和6年10月

イ 調査内容 生涯学習の推進組織、推進事業、情報提供事業、民間・NPOとの連携事業 等

2 生涯学習の普及奨励

(1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の集積・提供や広報活動に取り組んだ。

ア 生涯学習情報提供事業

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

コンテンツの充実に努め、システムの利用促進を図る取組を実施した。

イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

(ア) 発行部数………637部

(イ) 年間発行回数……4回

(2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業等を実施するとともに、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」において情報提供に取り組んだ。

また、学習ニーズに個別に応じた学習相談や情報提供を行い、生涯学習・社会教育活動の支援を行った。

ア 生涯学習ボランティア活動推進事業

生涯学習推進センターボランティア登録数 975人（令和7年3月末現在）

イ 電話相談「マナビィコール」の開設

(ア) 開催日………平日

(イ) 時間………9時～17時

(ウ) 相談員………生涯学習推進センター専門職員

(エ) 相談件数……82件

第2 岩手ならではの学習機会の提供

郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等において豊かな自然、文化、歴史などの資源をテーマとした公開講座を開催するなど、岩手ならではの学習機会の提供に取り組んだ。

1 成人の学習活動の支援

(1) 成人教育

市町村及び社会教育関係団体を主体として公開講座等が行われた。

【学級・講座】（令和6年度社会教育基本調査）

市町村数	学級数	受講者数
26	2,189	50,042

(2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てるよう社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に取り組んだ。

ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村が主体となり計画的な学習が行われた。

【学級・講座】（令和6年度社会教育基本調査）

市町村数	学級数	学級生数
19	320	5,885

イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言・指導を行うなど、その活動の支援を行った。

【組織状況（令和6年10月1日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	29	2,999

2 高齢者の学習活動の支援

(1) 高齢者学級・講座

高齢者の多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが行われた。

【学級・講座】（令和6年度社会教育基本調査）

市町村数	学級数	学級生数
27	1,275	41,093

3 視聴覚教育

(1) 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが求められていることから、指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

ア 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会専任職員等研修会

(ア) 実施時期 令和6年11月26日（火）

(イ) 参加者数 25人

(ウ) 内容 情報交流・演習（16ミリ映写機及び16ミリフィルムのメンテナンス）

イ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数	教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	29	沿岸南部	0	0
中部	1	7	宮古	0	0
県南	2	11	県北	0	0
		計			47

ウ 教材フィルム利用状況

[単位：本、人]

視聴覚ライ ブライヤー名	利用本数	観覧者数	視聴覚ライ ブライヤー名	利用本数	観覧者数
中央	313	4,780	大槌町	0	0
花巻市	314	5,723	久慈市	48	247
北上市	24	577	宮古市	100	1,074
西和賀町	0	0	山田町	0	0
県南第一	333	6,040	岩泉町	0	0
釜石市	33	307	二戸	82	1,101
遠野市	42	522	県立図書館	0	0
		計			20,331

4 県立図書館の整備充実

(1) 運営の方針

ア 図書館機能の充実

(ア) 県と指定管理者が役割と責任を明確にした上で、連携、協力し、図書館の運営者としての一体性を保持しながら、利用しやすい施設を目指した。

また、図書館のサービス提供部門の運営を担う指定管理者は、図書館の運営方針等に基づき適切に業務を遂行するとともに、県は指定管理者の管理運営の状況について評価し、必要に応じて助言や協議を行い、図書館機能が充実するよう取り組んだ。

- (イ) 図書館の運営上の課題を協議するため、図書館協議会を2回開催した。
- (ウ) アンケート等により利用者の意見を収集し運営に反映させるよう取り組んだ。
- (エ) 多様な利用者や住民に配慮したサービスの提供に取り組んだ。
- (オ) 図書館機能の充実のため、図書館職員の資質の向上に取り組んだ。

イ 広報活動の充実

利用者の便宜を図り利用促進につなげるため、印刷物の発行やホームページ等を活用し広報等情報の発信に取り組んだ。

ウ 図書館資料の収集、整理、保存及び活用

(ア) 県民のニーズを広域的かつ総合的に把握し、図書館資料としてふさわしい資料や情報を収集、整理し、保存するとともに活用を図り、県民の利用に供した。

(イ) 県民の利用を促すために、所蔵資料に係る目録等の整備を進めた。

(ウ) 郷土資料の収集、整理等を重点的に実施し、ホームページにより情報提供を図るとともに、資料の保存・利活用に当たってのデジタル化を進めた。

また、郷土資料講座等を実施し、資料の紹介と活用に取り組んだ。

(エ) 東日本大震災津波関係の記録を引き続き収集するとともに、本県の過去の災害関連資

料や防災に関する資料を収集し、利活用できるよう整理を進めた。また、震災・防災の学び合いスペース「I-ルーム」において、復興教育や今日的な課題について支援とともに情報発信を行った。

(オ) 古文書等の貴重資料について適切な整理を行うとともに、「デジタルライブラリーいわて」により公開し、岩手の文化の情報発信に努めた。

エ 相談機能の維持充実

(ア) 県民の調査研究活動を支援するとともに、生活上の課題や地域課題の解決に役立ててもらえるよう、図書館資料を活用して支援するレファレンスサービスを提供した。

(イ) レファレンス事例や郷土資料等に関する各種データベースを充実させ、情報を提供した。

オ 今日的課題への対応

少子化、超高齢社会、人口減少、産業振興等、本県における今日的課題の解決に資するよう取り組んだ。

カ 学習機会の提供と読書活動の奨励

(ア) 図書館資料を活用した企画展示等により、学習への興味関心を高めた。

(イ) 関係団体との連携により、読書週間を設け各種関連事業を実施したほか、県内の読書ボランティア等への図書館資料の貸出しや読み聞かせ会の実施等により、県民の読書活動の推進に取り組んだ。

(ウ) 読書活動、調べ学習及び就労体験実習等、学校教育の支援を行った。

キ 市町村支援及び連携

(ア) 市町村立図書館等のニーズを踏まえつつ、図書館運営に関する助言等を行うとともに、協力貸出や協力レファレンス等の支援を行った。

(イ) 図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同で調査研究を実施した。

(ウ) 県内図書館間の相互協力を推進した。

(エ) 市町村立図書館等職員のための各種研修講座を実施するなど、職員の知識・技能等の習得を支援した。

ク 関係団体等との連携

(ア) 岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会を通じて読書活動の奨励等が全県的な活動となるよう、県内図書館や関係団体等との連携を進めた。

(イ) 図書館以外の社会教育施設等との連携を強め、情報提供等の充実に取り組んだ。

(ウ) いわて県民情報交流センター内施設等と連携しながら、利用者の満足度向上に取り組んだ。

ケ 利用者の安全安心の確保

災害や事故等の発生時における対応マニュアルに基づき、日頃の訓練等を通じて迅速・適切に行動できるように備えた。

(2) 事業等の実施状況

ア 県立図書館協議会開催状況

第1回【期日】令和6年6月11日

【協議事項】

- ・ 県立図書館利用状況について
- ・ 県立図書館運営概要について
- ・ 「岩手県公立図書館等振興指針」の改訂について（答申）

第2回【期日】令和7年3月19日

【協議事項】

- ・ 県立図書館利用状況等について
- ・ 県立図書館運営概要について
- ・ 岩手県公立図書館等振興指針の改訂に向けた動きについて

イ 広報活動

各種広報誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に取り組んだ。

ウ 図書館資料の収集

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。特に、東日本大震災津波に関する資料収集を各方面に呼び掛け、積極的に取り組んだ。なお、資料収集等の実績は次のとおり。

(ア) 図書資料					[単位：冊]
区分	購入	寄贈	除籍	年度末総冊数	
一般用	4,083	5,000	463	716,076	
団体用	707	8	295	133,862	
計	4,790	5,008	758	849,938	

(イ) 視聴覚資料					[単位：点]
区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数	
16ミリ映画フィルム	0	0	0	1,539	
ビデオテープ	0	0	53	2,588	
DVD	17	23	0	3,175	
CD	4	6	0	4,701	
レコード	0	0	0	1,492	
録音テープ	0	0	0	1,448	
レリーフ・巧芸画	0	0	0	97	
計	21	29	53	15,040	

(ウ) 新聞・雑誌					[単位：タイトル]
区分	年度末総タイトル数				
新聞	392				
雑誌	5,848				
計	6,240				

(エ) マイクロフィルム					[単位：点]
区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数	
マイクロフィルム	22	0	0	10,063	

(オ) 電子資料		[単位：点]	(カ) 震災関連資料	[単位：点]
区分	年度末総点数		区分	年度末総点数
CD-ROM等	863		図書資料等	35,330
オンラインデータベース	8		視聴覚資料	214
計	871		計	35,544

(カ) デジタル化資料		[単位：点]
資料名	令和6年度デジタル化点数	
盛岡藩蝦夷地陣屋図ほか	4,273	

エ 利用者サービス

(ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数………360,623人

新規貸出登録者数…3,226人

(イ) 個人への館外貸出数

[単位：冊又は点]

区分	冊数又は点数
図書資料	159,388
視聴覚資料	1,791
うちビデオテープ	12
DVD	861
CD	918

(ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、企画展関連特別映画会13回、バリアフリー映画会2回の計15回開催した。

また、児童向け読み聞かせ会を62回開催した。

(エ) 参考調査（レファレンスサービス）

調べものや読書相談等に延べ17,423件の利用があった。

(才) 課題解決支援サービス [単位：人]

講演タイトル	開催日	参加者数
I-セミナー：紙ぶるるを使って地震防災について学ぼう	令和6年8月1～4日	69
I-セミナー：おうちのキケンを見つけよう!! ～いつおきるかわからない災害に備えて～	令和6年9月14日	21
I-セミナー：絶対に見つけ出す! ～災害救助犬のキセキ～	令和6年11月2日	46
I-セミナー：みんなで学ぶフェーズフリー ～いつもの暮らしから、非常時の支えに～	令和6年12月7日	30
I-セミナー：花巻北中学生による復興絵本読み聞かせ &図書館見学ツアーア	令和7年2月1日	31
I-セミナー：震災・防災つながるカフェ	令和7年3月20日	44
I-セミナー：家族で防災について学ぼう in 遠野 ～火災と妖怪～	令和6年7月29日	21
I-セミナー：ぼうさいNURIEでいのちを守る	令和7年1月13日	28

(才) 二次資料の作成

利用者のレファレンスサービス利用の便宜を図るため、二次資料を整備して提供した。

- ・ 国立国会図書館レファレンス協同データベース
- ・ レファレンス事例データベース
- ・ 岩手日報記事索引
- ・ 郷土関係雑誌目次集
- ・ 県人台帳

才 展示事業

(ア) 4階展示コーナー企画展示

[単位：点]

実施内容	開催期間	展示点数
地を往きて走らず～岩手と牛～	令和6年5月18日～7月21日	162
おかし・いとおかし	令和6年8月3日～10月14日	173
第36回啄木資料展	令和6年10月27日～1月19日	176
第45回手づくり絵本展（ミニ企画展： いわての復興教育と防災絵本）	令和7年2月1日～9日	211
美しさをみつめて～森口多里の生涯～	令和7年2月22日～5月6日	263

(イ) 各カウンターミニ展示

[単位：回]

場所	開催回数
総合、児童、郷土、新聞・雑誌、I-ルーム、飾り棚、連携展示等	233

力 読書推進運動事業

家庭・地域・学校における読書活動の推進に資することを目的として、「岩手県読書をすすめるつどい」を開催した。

期日：令和7年2月8日（土）

会場：岩手情報交流センター 内容：表彰・講演・実技発表 参加者：224人

キ 市町村への支援協力

(ア) 市町村立図書館等職員専門研修

- ・「インターネットから使える国立国会図書館のサービス」 参加者：42人

- ・「本のある広場をデザインしよう！—これから図書館建築を考える—」
参加者：42人
- (イ) 市町村立図書館等への訪問 24回 情報交換会（田野畠村）1回
- (ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員17人
テーマ：「『いわての図書館2024』の発行」
- (エ) 協力貸出
図書資料：743件、1,445冊
視聴覚資料：4件、4点
- (オ) 団体貸出
図書資料：39団体、23,049冊
視聴覚資料：1団体、2点

第3 学びと活動の循環による地域の活性化

県民一人ひとりが学んだ成果を地域課題の解決等に役立てるなど、学びと活動の循環を促したり地域の活性化に向けた仕組みづくりを進めたりするため、県立生涯学習推進センターを活用した研修・交流の場の提供や各種社会教育関係団体の活動の支援等に取り組んだ。

1 県立生涯学習推進センターの運営

(1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援・促進するため、生涯学習に関する情報提供・学習相談、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的・効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

(2) 運営の重点

ア 学習情報提供・学習相談

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実を図る。

- (ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実
- (イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実
- (ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

- (ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施
- (イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進
- (ウ) 生涯学習推進研究発表会の開催

ウ 指導者の養成・研修

生涯学習・社会教育関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

- (ア) 主に生涯学習・社会教育関係職員を対象とした研修（職員研修）
- (イ) 主に有志指導者（ボランティア）を対象とした研修（有志指導者研修）
- (ウ) 市町村等のニーズに応じた研修（要請研修）
- (エ) 社会教育主事講習等の資格認定に関する研修（資格認定研修等）

(3) 事業等の実施状況

ア 学習情報の提供

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用
インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。
【利用件数】144,712件

(イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報

【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】617部・年4回

【配布先】県、市町村教育委員会、小中高等学校、関係機関及び施設等

(ウ) 学習相談事業「マナビィコール」

【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談

電話番号：0198-27-4563（平日の9時～17時）

【相談件数】82件

(エ) 子育て相談「すこやか電話相談」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての電話相談

電話番号：0198-27-2134（平日の10時～17時）

【相談件数】1,157件

(オ) 子育て相談「すこやかメール相談・すこやかマガジン」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての相談、

子育てに関する情報をメール・SNSで提供

【相談件数】87件

【子育て情報提供】毎週木曜日を基本として配信

イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「2024 研究報 Vol. 27 いわての生涯学習」の発行

【部数】200部

【内容】SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた社会教育の役割と課題

(イ) 令和6年度岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】令和7年1月30日、31日

【会場】参集とオンラインのハイブリッド開催

【参加者数】174人（実人数）

【内容】(1) 研究発表・協議

① 「『博物館』の地域における社会教育的役割に関する研究」

② 「SDGsの実現に向けた社会教育の役割と課題」

(2) 基調講演「SDGs 第二歩～社会教育・生涯学習に期待される役割～」

(3) パネルディスカッション

「SDGsを具体的に推進していくために、関係機関はどのように連携していけばよいのか」

ウ 指導者の養成・研修

【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)	
主催事業	61 (6)	3,744	(568)
施設利用	63 △10)	4,300	(475)
随時研修	2 (△4)	17	(△6)
講師派遣	21 (△9)	999	(△584)
視察	1 (0)	2	(△2)
その他	1 (1)	264	(264)
計	149 (△16)	9,326	(715)

【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区分	研修・講座名	期日	受講者数
職員研修	新任生涯学習関係職員研修講座	令和6年5月9日、10日	87
	家庭教育・子育て支援担当者研修会	令和6年5月27日	133
	社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座	令和6年6月14日	23
	I C Tスキルアップ研修講座	令和6年5月14日、15日、16	130

区分	研修・講座名	期日	受講者数
有志指導者研修	人・つながり・地域づくり関係職員等研修会 (県内7会場)	日、6月11日、12日、 10月8日、9日、11日	
	コミュニケーションスキルアップ研修講座	令和6年7月17日、23日、25 日、8月19日、10月18日、 11月11日、26日	112
	学校と地域の連携・協働研修会	令和6年8月2日	43
	事業プログラム企画運営研修講座	令和5年8月8日	82
	子育て・家庭教育相談セミナー	令和5年9月27日	26
	地域安全防災研修会	令和6年9月6日、11月28日	820
	放課後の子どもの居場所指導者研修会	令和6年9月11日	25
要請研修	読書ボランティア研修会	令和6年6月28日、9月5日	339
	地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会	令和6年6月4日	167
	放課後児童支援員認定資格研修(4班編成、前後期各2日)	令和6年8月9日	50
	放課後児童支援員認定資格研修(4班編成、前後期各2日)	令和6年6月18日～10月23日	194
その他	随時研修(2回)	通年	17
	出前研修(講師派遣)(21回)	通年	999
合計	社会教育主事講習(B)	令和7年1月10日～2月20日	23
	岩手県生涯学習推進研究発表会(2日間)	令和7年1月30日、31日	174
			3,357

2 社会教育関係団体の活動支援

地域の活性化に向けた仕組みづくりを進めるため、社会教育関係団体の活動について、研修会における助言や経費の一部を補助するなどの支援を行った。

団体名	単位団体数	会員数	補助対象事業
岩手県子ども会育成連合会	12	47,148	・市町村子ども会活動活性化事業 ・県央ブロック研修事業 ・会報発行
日本ボーイスカウト岩手連盟	8	297	・岩手県野営大会
ガールスカウト岩手県連盟	8	141	・教育プログラム ・成人のトレーニング
岩手県青年団体協議会	2	30	・青年大会派遣
特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会	29	2,999	・広報活動
岩手県ユネスコ連絡協議会	23	1,412	・ユネスコ活動顕彰事業 ・ユネスコ運動広報事業
岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	18	542	・総会・研究大会 ・会報発行
一般社団法人 岩手県PTA連合会	33	73,329	・会報発行
岩手県高等学校PTA連合会	79	22,001	・会報発行
岩手県社会教育連絡協議会	0 (※市町村団体無)	1,505	・会報発行 ・全国社会教育研究大会参加

団体名	単位団体数	会員数	補助対象事業
			・社会教育主事・公民館職員・社会教育指導員等研修会

(組織状況：令和6年5月1日現在)

第4 社会教育の中核を担う人材の育成

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村教育委員会事務局に社会教育主事が8人、社会教育指導員が20人配置されている。

近年、社会を取り巻く環境の変化や新たな課題への対応のため、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、関係職員への教育は重要となっている。

令和6年度は、次の研修等を行った。

1 新任生涯学習関係職員研修講座

【期日|会場|参加者数】令和6年5月9日、10日|生涯学習推進センター|87人

【内容】生涯学習・社会教育の推進に関する基本的な知識・技能を習得する研修

2 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座

【期日|会場|参加者数】令和6年6月14日|生涯学習推進センター|23人

【内容】地域づくりにつながる参加型学習の取り入れ方や学習展開について学ぶ研修

3 事業プログラム企画運営研修講座

【期日|会場|参加者数】令和6年9月27日|生涯学習推進センター|26人

【内容】事業プログラムを企画、構成するための基本的な考え方を学び、若者を軸にした幅広い年代の地域参画につながる事業づくりについて理解を深める研修

4 コミュニケーションスキルアップ研修講座

【期日|会場|参加者数】令和6年8月2日|生涯学習推進センター|43人

【内容】地域住民や保護者の信頼を得るためにコミュニケーションスキルを身につけ、対応の仕方でクレームをチャンスに変える聴き方・話し方を学ぶ研修

5 I C Tスキルアップ研修講座

期日	サブタイトル名	参加者数
令和6年5月14日、15日、16日	オンライン配信を活用した研修会の企画・運営	22人
令和6年6月11日	チラシづくり初心者のためのテクニック向上講座	37人
令和6年6月12日	Excel活用講座	34人
令和6年10月8日	知らなかつた！Word裏技講座	29人
令和6年10月9日、11日、15日	オンライン配信を活用した研修会の企画・運営	8人

【内容】オンライン配信等 I C T活用による効果的な事業実施、オフィスソフトの使い方、魅力的なちらし・広報紙の作成等に関する研修

6 人・つながり・地域づくり関係職員等研修講座

期日	研修会サブテーマ	参加者数
令和6年7月17日	合理的配慮、あなたのまちは大丈夫？改正障害者差別解消法が施行されました	12人
令和6年7月23日	親と子のウェルビーイングを見据えた子育て・家庭教育支援	13人
令和6年7月25日	障がいのある方の学校卒業後の豊かな学びにつなげるための支援とは	14人
令和6年8月19日	だれひとり取り残さないまちづくり 多様な性から考える	27人
令和6年10月18日	みんな知ってる？リカレント教育	15人
令和6年11月11日	ロジックモデルで見直そう 来年度の事業	9人
令和6年11月26日	地域大好きっ子の育て方	22人

【内容】地域づくりを担う地区センター・公民館職員等のスキルアップを図る研修

7 岩手県公民館大会・岩手県社会教育委員研究大会

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、職務及び今日的な在り方に関する研修、
公民館の在り方等に関する研修

【期日|会場|参加者数】令和6年7月19日|花巻市文化会館|265人

※参考及びオンデマンド配信による

8 図書館等職員研修

(1) 新任図書館長等研修会

【期日|会場】令和6年4月26日

【内容】講話

【参加者数】11人

(2) 図書館等初任職員研修会

【期日|会場】令和6年5月13日～6月28日|YouTube配信（5月24日のみ県立図書館）

【内容】講義、意見情報交換

【参加者数】43人

(3) 図書館等中堅職員研修会

【期日|会場】令和6年7月19日～8月2日|YouTube配信（7月19日のみ県立図書館）

【内容】講義

【参加者数】37人

(4) 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会

【期日|会場】令和6年10月2日|いわて県民情報交流センター

【内容】基調講演、事例発表

【参加者数】43人

(5) 市町村図書館等職員専門研修

期 日	会 場	参 加 者 数
令和6年9月12日	オンライン配信 (ZOOM)	42人
令和7年1月29日	オンライン配信 (ZOOM)	42人

9 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

(1) 全国生涯学習センター等研究交流会

全国の生涯学習センター等の代表者・職員等を対象に、生涯学習センター等の運営上の課題等について研究協議等を行う。

【期日|会場】令和6年10月29日|オンラインによる研修

【内容】講義、事例研究、グループ協議等

【参加者数】2人

(2) 公民館職員専門講座

公民館職員として必要な高度かつ専門的な知識・技術についての研修を行い、地域の指導的立場にある公民館職員としての力量を高める。

【期日|会場】令和6年10月3日～8日|国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合とオンラインによる研修

【内容】講義、シンポジウム、事例研究等

【参加者数】1人

(3) 社会教育主事講習

社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省より委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習。

- ア 島根大学社会教育主事講習
 - 【期日|会場】令和6年7月13日～令和7年1月25日 |島根大学での集合研修とオンラインによる研修
 - 【内容】講義、演習、グループ研究等
 - 【参加者数】1人
- イ 社会教育主事講習【A】
 - 【期日|会場】令和6年7月12日～8月29日 |国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修
 - 【内容】講義、演習等
 - 【参加者数】1人（オンラインによる研修のみ受講）
- ウ 社会教育主事講習【B】
 - 【期日|会場】令和7年1月14日～2月20日 |オンデマンドによる研修と生涯学習推進センターでの集合研修
 - 【内容】講義（WEB配信）、演習等
 - 【参加者数】23人（本県15人）

(4) 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

全国の小・中・高等学校等の教員と美術館の学芸員などが一堂に会し、グループ討議等を行うことにより、美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図る。

【期日|会場】令和6年7月29日・30日東京国立近代美術館・国立新美術館

【内容】講演、事例紹介、グループワーク等

【参加者数】2人

(5) 新任図書館長研修

図書館に関する基本的な知識を教授し、館長の資質の向上を図る。

【期日|会場】令和6年9月18日～9月20日 |オンラインによる研修

【内容】講義等

【参加者数】2人

(6) 図書館司書専門講座

司書として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場になりうる司書及び図書館経営の中核を担うリーダーとしての力量を高める。

【期日|会場】令和6年6月6日～19日 |国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】講義、事例研究、演習等

【参加者数】1人

(7) 社会教育主事専門講座

社会教育主事として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高める。

【期日|会場】令和6年11月14日～19日 |国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】講義、実践交流、シンポジウム等

【参加者数】3人

(8) 地域教育力を高めるボランティアセミナー

地域と学校の連携・協働の推進に係る調査研究の成果等について研究協議等を行う。

【期日|会場】令和6年12月6日 |オンラインによる研修

【内容】調査報告、事例発表、事例研究、グループ協議等

※受講希望者は直接申込のため、参加人数は不明

第5 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

文化活動の拠点施設として、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化財センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。

また、青少年教育施設については、県立青少年の家の管理運営の充実と施設整備の機能の向上を図ったほか、県立野外活動センターにおいては、東日本大震災津波伝承館等近隣施設と連携した復興・防災教育に関する研修プログラム等の提供も行うなど、事業の充実に取り組んだ。

1 県立博物館

(1) 令和6年度博物館協議会開催状況

ア 令和7年1月31日

イ 会場 岩手県立博物館会議室

ウ 協議事項

- ・ 令和5年度博物館協議会の意見等への対応状況について
- ・ 令和6年度博物館事業実施状況について
- ・ 令和7年度博物館事業計画(案)について
- ・ 運営全般について

(2) 令和6年度利用状況

総利用者数 : 45,668人	入館者数 33,421人
	教育普及事業参加者数 12,247人 (解説会・普及事業)

【令和6年度入館者数】

[単位：人、日]

月 区分	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計
4	923	43	329	1,295	30	0	0	30	290	6	54	350
5	1,313	68	460	1,841	0	0	0	0	452	17	164	633
6	1,152	52	349	1,553	47	0	37	84	438	13	129	580
7	1,532	73	613	2,218	49	0	0	49	438	3	96	537
8	2,510	197	1,225	3,932	35	4	76	115	553	115	189	857
9	888	66	350	1,304	4	0	0	4	195	2	529	726
10	2,043	97	803	2,943	119	0	24	143	803	2	804	1,609
11	1,949	104	694	2,747	83	0	0	83	1,343	33	691	2,067
12	767	78	378	1,223	35	0	0	35	335	13	151	499
1	733	50	394	1,177	4	0	32	36	255	45	169	469
2	923	76	449	1,448	0	0	0	0	459	64	160	683
3	1,091	107	584	1,782	0	0	0	0	297	16	56	369
計	15,824	1,011	6,628	23,463	406	4	169	579	5,858	329	3,192	9,379

月 区分	総利用人員				開館日数	1日平均利用人数
	一般	高大学生	小中学生	計		
4	1,243	49	383	1,675	25	67.0
5	1,765	85	624	2,474	27	91.6
6	1,637	65	515	2,217	26	85.3
7	2,019	76	709	2,804	27	103.9
8	3,098	316	1,490	4,904	29	169.1
9	1,087	68	879	2,034	17	119.6
10	2,965	99	1,631	4,695	27	173.9
11	3,375	137	1,385	4,897	26	188.3
12	1,137	91	529	1,757	24	73.2

1	992	95	595	1,682	24	70.1
2	1,382	140	609	2,131	24	88.8
3	1,388	123	640	2,151	26	82.7
計	22,088	1,344	9,989	33,421	302	110.7

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

(ア) 資料の収集整理

令和6年度は、8,372点の資料についての受け入れ、登録事務を行った。

[単位:点]

【収集資料数】	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
令和5年度末累計	11,520	226,375	60,046	54,167	24,312	376,420
令和6年度登録点数	942	6,002	56	179	1,193	8,372
計	12,462	232,377	60,102	54,346	25,505	384,792

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- ・ 地 質 岩手県産更新統化石ほか 105点
- ・ 生 物 ホソガムシ類 6点
- ・ 考 古 小田島コレクションほか 47点
- ・ 民 俗 虫まつり人形ほか 10点、6組
- ・ 歴 史 太田孝太郎コレクション中国古印ほか 22点、一式
- ・ そ の 他 移動展ケースほか 9点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。

また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査がある。

令和6年度は43テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分 野	調査研究テーマ
地 質	「北上山地における地質学的資料に関する基礎的研究」 ほか計4テーマ
生 物	「岩手県内の絶滅危惧種の生息状況の把握」 ほか計14テーマ
自然史	「自然史標本の管理・公開、成果の発信に関する研究」 ほか計2テーマ
考 古	「岩手県における埋蔵文化財保護、研究のあゆみ」 ほか計6テーマ
歴 史	「古代・中世の東北史の研究」 ほか計8テーマ
民 俗	「岩手の民具一般に関する基礎研究」 ほか計5テーマ
文化財科学	「津波被災資料の安定化処理法及び抜本修復法に関する研究」 ほか計4テーマ

ウ 展示活動

(ア) 常設展示の充実

「総合展示室」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」「ミニプラザ」等の展示替え

(イ) 特別展示等の開催

種 別	名 称	会 期
テーマ展	「ラグビーといわて」	令和6年3月23日 ～令和6年5月19日
テーマ展	「ふしぎな縄文」	令和6年6月8日 ～令和6年8月25日

種 別	名 称	会 期
企画展	「捕食者の献立」	令和6年9月28日 ～令和6年12月1日
テーマ展	「辿る～岩手の囲碁・将棋～」	令和7年1月7日 ～令和7年3月9日
テーマ展	「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」	令和7年3月29日 ～令和7年5月18日

(ウ) 解説会 計 101回催し、1,485人の参加があった。

【展示解説会(定時：10回開催、125人参加)】

期 日	担 当	テ マ
4月 13日	歴史	「ラグビーといわて」
5月 4日		
6月 15日	考古	「ふしぎな縄文」
7月 13日		
9月 28日	生物	
9月 29日		「捕食者の献立」
10月 12日		
10月 13日		
1月 18日	歴史	
2月 22日		「辿る～岩手の囲碁・将棋」

【常設展示・展示解説会(91回開催、1,360人参加)】

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
通覧解説 (依頼解説)	91回 (随時)	1,360人	総合展示室 ほか	学芸第三課 (解説員)	総合展示室の展示資料についての展示解説会

(エ) 展示関連特別事業

展覧会名	事業名	参加者数
テーマ展 「ふしぎな縄文」	こどもジョウモン教室(7/27, 7/29, 8/5, 8/10)	51人
テーマ展 「辿る～岩手の囲碁・将棋」	囲碁体験教室(2/8)	16人
	囲碁解説会「盛岡藩士向井将曹と本因坊跡目秀策の棋譜」(2/8)	24人
	将棋体験教室(2/22)	27人
	将棋トーク「岩手で将棋指しを育てる」	37人

エ 教育普及活動

【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	テーマ展「ふしぎな縄文」 こどもジョウモン教室	4回	51人
2	テーマ展「辿る～岩手の囲碁・将棋～」関連イベント	4回	104人
3	長期休暇期間子ども向け解説	173回	530人
4	チャレンジ！はくぶつかん	54回	2,481人
5	ワードクイズ	51回	854人
6	ナイトミュージアム	2回	34人
7	文化講演会	1回	75人
8	岩手県立博物館友の会 話のサロン	2回	40人
9	県博日曜講座	22回	971人
10	県博バックヤードツアー	2回	14人
11	地質観察会	1回	15人

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
12	自然観察会	2回	37人
13	植物園案内	4回	20人
14	ミュージアムコンサート	1回	113人
15	ミュージアムシアター	10回	187人
16	たいけん教室～みんなでためそ～	47回	848人
17	ゴールデンウィーク スペシャルイベント	6回	69人
18	民俗講座	2回	65人
19	冬のワクワク！ワークショップ	4回	74人
20	博物館で学ぶ岩手の歴史講座	7回	87人
21	博物館館園実習	1回	11人
22	文化財等取扱講習会（4日間）	4回	25人
23	教員のための博物館の日（2日間）	2回	34人
24	博物館まつり	2回	1,723人
25	県博出前講座	30回	1,288人
26	講演会・講座に係る職員派遣	28回	1,012人
	計		10,762人

No. 1 テーマ展「ふしぎな縄文」こどもジョウモン教室

【期日】7月27日、7月29日、8月5日、8月10日

【内容】小学生を対象とした土器の模様の作成や縄文の“なわ”を作成する

No. 2 テーマ展「辿る～岩手の囲碁・将棋」関連イベント

【期日】2月8日、2月22日

【内容】県内高校の囲碁・将棋部を講師とした囲碁と将棋の体験教室や囲碁や将棋に関連したトークセッション

No. 3 長期休暇期間子ども向け解説

【期日】7月23日～8月9日、12月24日～1月10日、3月18日～28日

【内容】長期休暇期間（夏・冬・春）に子ども向けの解説会を行った。

No. 4 チャレンジ！はくぶつかん

【期日】第2・3土曜日・日曜日・祝日

【内容】学芸員が作成するワークシートの配布

No. 5 ワードクイズ

【期日】①4月2日～4月12日 ②7月23日～8月9日 ③12月24日～1月10日

④3月18日～3月30日

【内容】学芸員が作成するワードパズルの配布

No. 6 ナイトミュージアム

【期日】8月9日、8月10日

【内容】小中学生を対象とした、閉館後の展示室を学芸員の解説をききながらめぐるツアー

No. 7 文化講演会

【期日】11月3日

【演題】「カワネズミの食べもの・カワウの食べもの」

No. 8 岩手県立博物館友の会 話のサロン

【期日】①5月20日 ②2月15日

【演題】①新渡戸稻造と津田梅子 ②歌人 大西民子の短歌と生涯

No. 9 県博日曜講座

期日	テーマ
4月14日	釜石ラグビーのこれまでとこれから
4月28日	世界の中の岩手－近代スポーツと学校－
4月12日	岩手のユネスコ無形文化遺産
4月26日	岩手県の不思議な信仰－動物編－
6月9日	平安時代の御所野遺跡とその周辺
6月23日	可愛い・やばい・神対応の縄文土偶

7月14日	対談 縄文のふしげ
7月28日	生命史をひも解く－古第三紀－
8月11日	山と縄文人
8月25日	旧石器時代の変なモノ～旧石器人は何を描いたか～
9月22日	青い目の人形-昭和2年の日米親善交流-
10月27日	担当学芸員の企画展解説 捕食者の献立
11月10日	虫と人のアゴはどう違う？ アゴの進化と多様性
11月24日	海鳥と旅する食物連鎖の世界
12月8日	忘れられたパンデミックスペイン・インフルエンザと新型コロナウイルス感染症
12月22日	岩手の江戸時代の古文書
1月12日	文化財を守るための環境管理
1月26日	文献にみる岩手の碁打ち・将棋指し
2月9日	収蔵地質標本の産地を巡って
2月23日	科研費研究成果報告 オオセッカはどこで越冬するか
3月9日	岩手県の植物相を調べよう！
3月23日	続 雜学のススメ（笑いと頭の体操）～中高年の皆さんと一緒に考える名言 No.4～ (渋沢栄一も愛した論語とは…。孔子の言葉は、時代を超えて今もなお私たちの心に響き続けています)

No.10 県博バックヤードツアー

【期日】5月18日

【内容】普段は立ち入ることができない当館の収蔵庫等の設備を特別に見学

No.11 地質観察会

【期日】①7月7日 ②10月26日

【内容】①二戸市の門ノ沢動物群の地層を見る ②一関市東山の古生界と化石を見る

No.12 自然観察会

【期日】①7月21日 ②10月20日

【会場】①大船渡市大窪山森林公園 ②盛岡市動物公園ZOOMO

No.13 植物園案内

【期日】①4月28日 ②4月29日

【内容】当館植物園にて学芸員の解説による見学会

No.14 ミュージアムコンサート

【期日】12月15日

【内容】劇団しばいぬによる、ミュージアムドラマ「サンタ、くろうす」の上演

No.15 ミュージアムシアター

【期日】毎月第1土曜日 ※9月はお休み

【内容】博物館講堂で名作映画を楽しむ

No.16 たいけん教室～みんなでためそう～

【期日】毎週日曜日開催 ※9月はお休み

【内容】主に解説員による小学生対象のワークショップ

No.17 ゴールデンウィークスペシャルイベント「よみがえった古代のボードゲーム」

【期日】5月2日～5月4日

【内容】古代のボードゲーム「かりうち」を体験するワークショップ

No.18 民俗講座

【期日】①8月24日 ②11月3日

【内容】収蔵資料の民具を実際に使用することで、昔の暮らしと仕事を学ぶ

No.19 冬のワクワク！ワークショップ

【期日】1月11日

【内容】主に解説員による小学生対象のワークショップ

No.20 博物館で学ぶ岩手の歴史講座（実習・講習会）

【期日】①9月21日 ②9月28日 ③10月5日 ④10月19日 ⑤10月26日 ⑥11月2日

⑦11月9日

【内容】歴史を専門的に学んだことのない方や基礎から学びなおしたいと考えている方を対象として、古代から現在までの本県及び本国の歴史展開の概説と、くずし字や和様漢文の初步的

解説法を含む史料の取扱法の解説を主な内容とするリレー講座

No.21 博物館館園実習

【期日】8月22日～29日

【内容】岩手大学、千葉大学等7大学から11名を受け入れた

No.22 文化財等取扱講習会

【期日】①6月20日～21日 ②11月21日～22日

【内容】県内各市町村の文化財担当職員及び県内博物館等関係者対象に資料収集保管の基本的な取扱い、資料を活用した展示及び教育普及活動等を指導

No.23 教員のための博物館の日

【期日】8月8日～9日

【内容】展示解説、収蔵庫見学等

No.24 博物館まつり

【期日】10月12日～13日

【内容】スタンプラリーや昔遊び、ダブルダッチ実演・体験会

No.25 県博出前講座

【内容】学芸員が学校へ出向き館の資料を用いた授業等を実施

期 日	依頼者	演題・イベント名ほか
5月31日	岩手県立大学	地域環境調査実習C「滝沢森林公園の鳥類」
6月22日	岩手県立大学総合政策学部	地域環境調査実習C 実習指導
6月28日	岩手県立峰南高等支援学校	零石地方のあねこ衣装について
7月17日	岩手大学人文社会科学部	考古学講義A「火山噴火と遺跡」
7月20日	食を育む会子どもひろば	いわてのかせき
7月26日	岩手県立伊保内高等学校 郷土芸能委員会	いわての郷土芸能
8月6日	奥州市立江刺第一中学校	フィールドワーク
8月27日	岩手大学人文社会科学部	博物館資料保存論「文化財を食べる生きもの」
8月27日	岩手大学人文社会科学部	博物館資料保存論 「災害と資料保存—津波で被災した資料の再生—」
9月6日	岩手県立峰南高等支援学校	博学連携事業について
9月18日	八幡平市立柏台小学校	学校の周りの植物
11月6日	岩手県立青松支援学校高等部	青松支援学校敷地内 松屋敷遺跡について
11月12日	盛岡市立仙北小学校	森と川の生きものの関係
11月13日	盛岡市立仙北小学校	岩手の絶滅危惧植物
11月20日	岩手県立花巻南高等学校	1学年「言語文化」授業
11月27日	岩手県立青松支援学校高等部	企画展「捕食者の献立」展示解説
12月4日	岩手県立青松支援学校高等部	盛岡の殿様 南部さん
12月9日	盛岡市立高等学校	令和6年度情報講演会
12月9日	岩手県立岩谷堂高等学校	津波で被災した資料の再生
12月11日	岩手県立青松支援学校高等部	岩手の郷土玩具
12月20日	岩手県立青松支援学校高等部	石と岩石について
1月15日	岩手県立岩谷堂高等学校	いわての郷土芸能～鹿踊を中心に～
1月22日	盛岡市立北松園小学校	昔の暮らしの知恵
1月28日	岩手県立青松支援学校高等部	伝統工芸～染めと織り～
1月28日	盛岡市立厨川小学校	民家解説
1月30日	盛岡市立高松小学校	昔の暮らしの知恵
2月6日	八幡平市立柏台小学校	昔の暮らしの知恵
2月13日	岩手県立峰南高等支援学校	博学連携事業について
2月19日	盛岡市立好摩小学校	昔の暮らしの知恵
3月10日	八幡平市立安代中学校	津波で被災した資料の再生

No.26 講演会・講座に係る職員派遣

期 日	依頼者	演題・イベント名ほか
4月14日	日本野鳥の会もりおか	博物館が実施する岩手県の鳥類調査

5月19日	住田町教育委員会	森のマイスター講座「花と虫の関係」 (自然観察会)
6月26日	誓久山宝樹寺	永代経法会関連講話 「死者と生きる－津波犠牲者供養のかたち－」
6月29日 30日	明治大学黒曜石研究センター	演題「十和田平安噴火と地域社会の動態」 イベント名「シンポジウム 火山災害考古学：地域社会の罹災とそのレジリエンス」
7月6日	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	野牛のいた時代 黒曜石・貞岩から探る東北地方北部における旧石器人の資源獲得
7月6日	後三年合戦みさとプロジェクト実行委員会	後三年合戦みさとプロジェクト講演会 「岩手県立博物館所蔵『後三年合戦絵巻』について」
7月6日	東北地方環境事務所	十和田八幡平国立公園岩手山地区パークボランティア研修会 演題「生態学の目で見る網張の森」(自然観察会)
7月12日	名桜大学	名桜大学令和6年度前期科目「歴史学」「災害と歴史学」
7月13日	岩手大学平泉文化研究センター	イベント名：令和6年度岩手大学リカレント教育プログラム「文化資源論」 講義2日目 「民俗芸能と地域～芸能を生み出す神社・仏閣～」
7月24日	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパーク認定ガイド講座 演題「三陸の成り立ち」
7月25日	盛岡市渋民公民館	夏休み!子ども大作戦 すごいぞ昆虫!!
7月27日	こども食堂キッチンすまいる	自然観察会
8月25日	陸前高田市教育委員会	令和6年度「飯森の化石産地」文化財指定記念講演会 演題「ペルム紀と飯森の化石産地」
8月28日	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパーク認定ガイド講座
8月29日	盛岡市松園地区公民館	松園地区公民館主催事業「縄文講座」第1回 講演 「縄文時代の生活と御所野遺跡」
8月30日	NPO JCP	令和6年度文化財保存修復を目指す人のための実践コース 講義「自然史標本(特に植物標本)の価値、保存管理と修復について」
11月2日	国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所	四十四田ダム オーダムまつり 2024「四十四田ダムのカワウ」
11月9日	書肆みず盛り	トークイベント 書肆みず盛りの知りたい世界「身近な存在を広く調べ深く知る!博物館学芸員の世界！」
11月16日	公益財団法人岩手県文化振興事業団	企画展「まじないと地域史」関連講座 「考古学と民俗学の融合」:演題「まじないと地域史」
12月1日	早池峰フォーラム実行委員会	第26回早池峰フォーラム 講演「シカに食べつくされる早池峰の森」
12月8日	仙台市縄文の森広場	「令和6年度縄文の森講座」第1回 演題「東北地方の土偶を知る」
12月14日	一戸町教育委員会	講演「岩手を掘る～記録と記憶に刻まれた遺跡たち～」
1月25日	山田町教育委員会	令和6年度山田町歴史講演会・企画展 「土器からみる縄文人の暮らし」
1月30日	盛岡市中央公民館	令和6年度盛岡市中央公民館講座 「明治・大正 近代もりおかへの旅」
2月8日	(公財)仙台市市民文化事業団 富沢遺跡保存館	花泉遺跡の特徴と動物骨化石
2月17日	岩手町一方井公民館	演題「誕生と死」 ミニ展示会「岩手町の芸能」

2月28日	愛知県博物館協会	愛知県博物館協会職員研修会・第48回東海三県博物館協会交流会「東北発博物館・文化財等防災向上プロジェクトの取り組み」
9月25日 ～ 1月15日 (全15回)	盛岡大学	盛岡大学文学部「博物館資料保存論」

2 県立美術館

(1) 岩手県立美術館協議会の開催状況

区分	期 日	場 所	内 容
第1回	令和6年9月3日	県立美術館 会議室	① 県立美術館の概要 ② 令和5年度における意見・要望対応 ③ 観覧者数の推移 ④ 令和6年度事業実施状況 ⑤ 美術品収集

(2) 利用状況

[単位：人、日]

区分	常設展				企画展				観覧者 数の計		
	観覧者数				開催 日数	観覧者数					
	小中 高生	大학 生等	一 般	小 計		小中 学生	高・大 生等	一 般			
4月	120	14	582	716	22	107	106	1,722	1,935	15	2,651
5月	186	25	592	803	27	527	496	4,834	5,857	27	6,660
6月	216	29	727	972	26	136	211	2,433	2,780	16	3,752
7月	176	29	449	654	23	173	122	2,861	3,156	24	3,810
8月	181	129	1,330	1,640	28	2,251	1,491	11,606	15,348	20	16,988
9月	126	78	826	1,030	25	2,372	1,652	14,400	18,424	25	19,454
10月	247	24	99	1,270	23	670	598	5,596	6,864	17	8,134
11月	174	9	37	530	26	162	205	5,691	6,058	26	6,588
12月	30	47	330	407	24	98	137	4,189	4,424	19	4,831
1月	60	38	413	511	20	56	109	2,144	2,309	18	2,820
2月	27	58	526	611	25	108	388	3,210	3,706	22	4,317
3月	80	87	578	745	26	75	176	2,055	2,306	14	3,051
計	1,623	567	7,699	9,889	295	6,735	5,691	60,741	73,167	243	83,056

(3) 展示事業

ア 常設展の開催

[単位：人]

区 分	会 期	観覧者数
第4期展示	令和6年1月27日～令和6年4月21日	600（4月1日以降）
第1期展示	令和6年4月26日～令和6年7月15日	2,303
第2期展示	令和6年7月20日～令和6年10月20日	3,901
第3期展示	令和6年10月26日～令和7年1月19日	1,508
第4期展示	令和7年1月25日～令和7年4月20日	1,522（3月31日まで）

イ 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会 期	観覧者数
堀内誠一 絵の世界	令和6年4月13日～令和6年6月2日	8,827
川端龍子展	令和6年6月15日～令和6年7月28日	4,774
サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	令和6年8月10日～令和6年10月6日	39,124

柚木沙弥郎 永遠のいま	令和6年10月19日～令和6年12月22日	12,092
平間至展 写真と音楽があるかぎり	令和7年1月11日～令和7年2月24日	6,215
アートフェスタいわて2024	令和7年3月8日～令和7年3月23日	2,300

(4) 教育普及事業

ア 展示関連事業

(ア) 企画展教育プログラム

- ギャラリートーク……学芸員による展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催 【参加者数】885人

- 企画展関連講座等

[単位：人]

内 容	講 師 等	期 日	参 加 者 数
堀内誠一 絵の世界 開幕記念講演会「絵を愛した父」	堀内 花子氏	令和6年4月13日	97
堀内誠一 絵の世界 講演会「『BRUTUS』はこうしてできた。堀内さんとの仕事と思い出」	石川 次郎氏	令和6年5月11日	73
堀内誠一 絵の世界 ワークショップ「飾ってかわいいガーランドとくるくる回るモビール作り」	堀内 紅子氏	令和6年5月18日	49
川端龍子展 講演会「日本画家・川端龍子の会場芸術」	木村 拓也氏	令和6年7月6日	73
川端龍子展 講演会「『会場芸術』の源流－技法材料から考察する龍子作品－」	金子 朋樹氏	令和6年7月14日	45
サンリオ展 ニッポンのかわい文化60年史 秋のワークショップ「ふわふわモコモコマスコット」			585
柚木沙弥郎 永遠のいま 素材体験＋トーク「すべての人に、柚木沙弥郎－人生楽しもう！」	降旗千賀子氏	令和6年10月26日	29
柚木沙弥郎 永遠のいま ワークショップ「型染を楽しむ」	小田中耕一氏	令和6年11月16日	31
柚木沙弥郎 永遠のいま 開催記念講演会「柚木沙弥郎の晩年様式 自由に自由が自由を」	水沢 勉氏	令和6年11月30日	120
平間至展 写真と音楽があるかぎり スペシャル・ギャラリートーク	佐藤 正子氏	令和7年1月11日	60
平間至展 写真と音楽があるかぎり アーティスト対談「平間至展ができるまで」	平間 至氏 佐藤 正子氏	令和7年1月25日	130
平間至展 写真と音楽があるかぎり ワークショップ「動いて撮ると楽しいよ」	平間 至氏	令和7年1月26日	19
平間至展 写真と音楽があるかぎり スペシャル・ギャラリートーク	平間 至氏	令和7年2月23日	120

(イ) 常設展教育プログラム

- コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説

【期日】毎月第2・第4土曜日に年間24回開催 【参加者数】191人

- 特別展示「搖らぐ体空」

菅木志雄インスタレーション作品鑑賞ツアー 3回実施

【参加者数】19人

- コレクション展関連講座 2回実施

【参加者数】134人

イ 美術普及事業

(ア) スタジオプログラム

- ・ オープンスタジオ

【期日】令和6年7月27日～28日

【期日】令和6年12月21日～22日

【参加者数】269人

- ・ アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ

【期日】毎月実施（5月を除く。） 【対象】3～6歳児と保護者 各11組

【参加者数】180人

- ・ アートデオヤコ こどもの日スペシャル

……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ

【期日】令和6年5月5日 【対象】小学生以下のお子様と保護者

【参加者数】273人

(イ) 美術プログラム

[単位：人]

内 容	期 日	参加者数
館長講座	令和6年5月25日、8月24日、 11月9日、令和7年2月22日	112
学芸員講座	令和6年8月25日	8
実技体験講座	令和6年10月27日、11月10日、11月17日、 11月24日、12月1日、12月7日、令和7年 1月12日、2月2日、2月9日、2月23日	147

(ウ) 映像プログラム

アートシネマ上映会…美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映

期 日	内 容	鑑賞者数
令和6年4月21日	オズの魔法使い	47
5月12日	道	57
6月23日	どら平太	42
7月21日	伊賀の水月 剣雲三十六騎	37
8月18日	ブレッドワイナー	59
9月15日	ミステリアス・ピカソ 天才の秘密	93
10月20日	シャレード	65
11月10日	出来ごころ	92
12月15日	ムーミン谷とウインターワンダーランド	91
令和7年1月19日	惑星ソラリス	75
2月16日	こねこ	76
3月23日	M.C.エッシャー	66

(エ) アウトリーチ事業

- ・ 出前授業

【団体数】18団体 【参加者数】 745人

- ・ 講師派遣

【団体数】5団体 【参加者数】 117人

ウ 来館者対応事業

(ア) 美術館探検「てくてくツアーア」

【期日】年6回 【参加者数】 74人

(イ) 一般団体等対応

- ・ 一般団体対応

【期日】随時 【利用者数】 166人

- ・ ファミリータイム

【期日】毎月第2木曜日・第4土曜日

【参加者数】 183人

(ウ) 学校団体対応（生徒インタビュー含む）

【期日】随時 【利用者数】 1,479人

(エ) 美術相談

【期日】随時

(オ) ライブラリー企画

【期日】年6回

（5） 広報事業

ア 美術館ニュース「アブリーレ」……年2回

イ 企画展チラシ、ポスター…………企画展の開催の都度

- ウ 常設展展示目録、ポスター…………常設展の展示替えの都度
- エ 美術館スケジュール……………年4回

(6) 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

3 県立青少年の家

(1) 県南青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

イ 研修活動

- (ア) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に取り組んだ。
- (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に取り組んだ。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (ウ) 利用者層の拡大と親しみやすい施設運営に取り組んだ。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

(2) 陸中海岸青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 安全確保を念頭に活動内容の充実に努め、一部の事業において海の活動を取り入れたプログラムを展開することができた。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に取り組んだ。
- (ウ) 近隣市町村を中心に関係者及び関係機関との情報交換を密にし、連携を図ることができた。

イ 研修活動

- (ア) 利用団体との事前打ち合わせに丁寧に対応し、利用者（団体）のねらいが達成されるよう支援に取り組んだ。
- (イ) 施設利用について、利用者のニーズに応じ、柔軟な対応をするよう取り組んだ。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 近隣市町村への広報や季刊誌等により、利用促進に取り組んだ。
- (ウ) 利用者の立場に立ち、利用者の満足度を高める接遇を心掛けることで、利用促進を図った。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

(3) 県北青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域、施設の特性を生かし、研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に取り組んだ。
- (ウ) 近隣の社会教育施設や地域団体等との連携強化を図った。

イ 研修活動

- (ア) 団体の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に取り組んだ。
- (イ) 利用者のニーズに応じて、新しい研修活動プログラム（レク、創作活動等）を導入した。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 施設開放事業を行い、広く地域住民に親しまれるように取り組んだ。
- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。
- (エ) 積極的な臨時開所や出前講座の実施、月1～2回の地元FMラジオ番組への電話出演等、ホームページ・ポスター・チラシ等で広報活動を展開した。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

4 県立野外活動センター

(1) 主催事業

海洋性野外活動のほか、各種スポーツ事業やファミリー対象事業、復興防災事業、ボランティア養成事業等を実施した。

(2) 研修活動

地域の特性を踏まえた、野外活動、スポーツ活動、創作活動等の研修プログラムを作成し、提供了。

(3) 利用の促進

利用者アンケートを分析して改善方法を検討し、利用促進に取り組んだ。

(4) 環境の整備

- ア 利用者の安全確保に向けたマニュアルを活用し、施設管理の手順や方法等を職員間で共有した。
- イ 施設敷地の環境整備に取り組んだ。

【県立県南青少年の家 令和6年度主催事業及び自主事業】

(1) 野外活動指導者セミナー①②

【期日|参加者数】 ①4月26日 29人
②5月1日 27人

(2) 自然ワンダークラブ①～④

【期日|参加者数】 ①5月25日～26日 30人
②8月17日～18日 26人
③9月28日～29日 22人
④1月11日～12日 25人

(3) アドバイザースタッフ養成講座

【期日|参加者数】 5月25日～26日 15人

(4) 水と緑のフレンドシップ

【期日|参加者数】 7月28日～31日 15人

(5) かるがも親子体験教室

【期日|参加者数】 10月26日～27日 19人

(6) 通学合宿

【期日|参加者数】 11月10日～13日 32人

(7) 県南は～とふる♡Day①②

【期日|参加者数】 ①通年 16人
②12月7日 17人

(8) 冬のおもしろ体験ランド

【期日|参加者数】 1月26日 284人

(9) [自主事業]ファミリートレッキング

【期日|参加者数】 6月8日 24人

(10) [自主事業]かるがも親子体験教室

【期日|参加者数】 7月13日 31人

(11) [自主事業]ふれあいフェスティバル

【期日|参加者数】 8月25日 916人

(12) [自主事業]サッカーフェスティバル

【期日|参加者数】 9月14日～15日 725人

(13) [自主事業]大人ワンダークラブ

【期日|参加者数】 10月12日 9人

(14) [自主事業] 親子de手作りクリスマスキャンドル作り①～④

【期日|参加者数】 ①11月23日午前 84人
②11月23日午後 63人
③11月24日午前 52人
④11月24日午後 24人

(15) [自主事業]かるがも親子体験教室

【期日|参加者数】 2月15日～16日 27人

【県立陸中海岸青少年の家 令和6年度主催事業及び自主事業】

(1) ワンダフルネイチャー①～③

【期日|参加者数】 ①4月20日 37人
②10月12日 29人
③11月16日 18人

(2) 自然体験活動セミナー

【期日|参加者数】 4月26日 30人

(3) 海釣り道場

【期日|参加者数】 5月3日～4日 27人

(4) アドバイザースタッフセミナー

【期日|参加者数】 7月6日 2人

(5) マリンランド陸中自然体験塾①②

【期日|参加者数】 ①海の子野外教室 7月31日～8月3日 31人
②雪ん子野外教室 1月7日～9日 19人

(6) 1DAY親子防災キャンプ

【期日|参加者数】 10月5日 20人

(7) エンジョイ夜釣り

【期日|参加者数】 10月19日 72人

(8) 創作ひろば

【期日|参加者数】 12月14日 55人

(9) 季節の味わい

【期日|参加者数】 2月1日 4人

(10) ハートフルキャラバン

【期日|参加者数】 通年 98人

(11) やまびこキャラバン

【期日|参加者数】 通年 4,889人

(12) [自主事業] マリンランド陸中杯グラウンド・ゴルフ交流会①～③

【期日|参加者数】 ①5月15日 90人
②9月11日 68人
③10月9日 73人

(13) [自主事業]マリンランド陸中フェスタ「感謝まつり」

【期日|参加者数】 9月22日 331人

(14) [自主事業]陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓会

【期日|参加者数】 1月25日 146人

(15) [自主事業]第17回マリンランド陸中ミニバスケットボール交流会

【期日|参加者数】 3月1日～2日 733人

(16) 第2回マリンランド陸中サッカー交流会

【期日|参加者数】 3月8日～9日 442人

【県立県北青少年の家 令和6年度主催事業及び自主事業】

- (1) 県北ステラクラブ
【期日|参加者数】 通年（4月～2月） ※R6申込なし
- (2) 野外活動セミナー①②
【期日|参加者数】 ①5月9日 22人
②5月10日 13人
- (3) いきいきグラウンド・ゴルフ大会①②
【期日|参加者数】 ①5月15日 67人
②9月17日 54人
- (4) ステラパルボランティア養成セミナー
【期日|参加者数】 5月18日～19日 7人
- (5) わんぱく広場①②
【期日|参加者数】 ①6月8日 33人
②6月9日 41人
- (6) 親子でデイキャンプ①②
【期日|参加者数】 ①6月22日 32人
②6月29日 26人
- (7) サマーチャレンジキャンプ
【期日|参加者数】 8月4日～8日 30人
- (8) にこにこキャンプ①②
【期日|参加者数】 ①9月14日～15日 28人
②9月21日～22日 28人
- (9) 親子でアウトドア・クッキング！
【期日|参加者数】 10月6日 44人
- (10) 親子でチャレンジ
【期日|参加者数】 10月26日～27日 39人
- (11) スケートFanFunデー
【期日|参加者数】 11月3日 369人
- (12) だれでもスケート教室①～③
【期日|参加者数】 ①11月10日 56人
②11月24日 58人
③12月7日 31人
- (13) ステラパル冬遊塾
【期日|参加者数】 1月9日～11日 33人
- (14) ウィンタースクール
【期日|参加者数】 2月1日～2日 28人
- (15) スケートFanFun感謝デー
【期日|参加者数】 2月16日 564人
- (16) [自主事業]県北お泊り会①～③
【期日|参加者数】 ①7月27日～28日 58人
②12月21日～22日 83人
③3月1日～2日 87人
- (17) [自主事業]あつまれアイスキッズ！
【期日|参加者数】 11月～3月 2,660人
- (18) [自主事業]冬休みしゅくだいバス①～⑥
【期日|参加者数】 ①12月25日 21人
②12月26日 31人
③12月27日 17人
④12月28日 10人
⑤1月5日 中止
⑥1月6日 11人

(19) [自主事業]ステラパル冬まつり
【期日 | 参加者数】 2月16日 1,416人

【県立野外活動センター 令和6年度実施事業】

(1) 野活トレッキング①②

【期日|参加者数】 ①4月27日 22人
②2月16日 22人

(2) 合同事前研修会①～③

【期日|参加者数】 ①5月8日 20人
②5月9日 20人
③7月9日 33人

(3) オトナキャンプ

【期日|参加者数】 6月1日～2日 12人

(4) SUP体験会①②

【期日|参加者数】 ①6月8日 15人
②7月13日 36人

(5) 野活キッズ①②

【期日|参加者数】 ①7月20日～21日 30人
②2月1日～2日 18人

(6) ボランティアスタッフ養成講座

【期日|参加者数】 7月20日～21日 7人

(7) ドラマチック海遊塾

【期日|参加者数】 7月28日～31日 30人

(8) 復興・防災学習現地研修会①②

【期日|参加者数】 ①8月6日 12人
②8月7日 7人

(9) ファミリーキャンプ in 広田①②

【期日|参加者数】 ①(初級編) 8月24日～25日 37人
②(防災編) 9月28日～29日 28人

(10) 親子海釣り教室

【期日|参加者数】 10月5日～6日 18人

(11) スポーツ教室 in ハマラインパーク①～③

【期日|参加者数】 ①10月26日 65人
②10月27日 33人
③1月25日 99人

(12) 通学宿泊合宿

【期日|参加者数】 11月17日～20日 20人

(13) 野活クラフト教室

【期日|参加者数】 12月14日 40人

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）
 (※各項目の利用実績は、令和5年度実績)

1 図書館（令和6年4月1日現在）※令和6年度図書館・公民館図書室等実態調査より

	合 計	図書館	公民館等
施設数	53	46	7
職員数	509	478	31
(うち専任)	93	93	0
蔵書総冊数	5, 290, 600	5, 052, 264	238, 336
年間受入冊数	137, 837	129, 713	8, 124
貸出冊数	4, 665, 641	4, 443, 955	221, 686

2 公民館（令和6年10月1日現在）※令和6年度社会教育基本調査より

	合 計	本館 計	本館		分館
			中央館	地区館	
施設数	141	119	16	103	22
職員数	485	468	115	353	17
(うち本務)	117	113	40	73	4
(〃 兼務)	82	68	25	43	4
(〃 非常勤)	296	287	50	237	9
利用団体数	29, 876	28, 249	5, 626	22, 623	1, 627
利用者数	1, 344, 951	1, 297, 599	366, 924	930, 675	47, 352
(うち団体)	1, 181, 770	1, 136, 177	341, 945	794, 232	45, 593
(〃 個人)	163, 181	161, 422	24, 979	136, 443	1, 759

3 博物館等（令和6年10月1日現在）※令和6年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	105	62	43
職員数	593	387	204
(うち本務)	245	128	117
(〃 兼務)	106	78	26
(〃 非常勤)	242	181	61
※学芸員数（内数）	(94)	(70)	(24)
来館者数	1, 767, 255	720, 131	1, 047, 124

4 青少年教育施設（令和6年10月1日現在）※令和6年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	5	2	3
職員数	23	11	12
(うち本務)	9	7	2
(〃 兼務)	3	0	3
(〃 非常勤)	11	4	7
利用団体数	280	154	126
利用者数	39, 717	15, 273	24, 444
(うち団体)	28, 115	8, 114	20, 001
(〃 個人)	11, 602	7, 159	4, 443

5 文化施設（令和6年10月1日現在）※令和6年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	30	8	22
職員数	212	49	163
(うち本務)	133	23	110
(〃 兼務)	19	14	5
(〃 非常勤)	60	12	48
利用団体数	27,727	1,115	26,612
利用者数	1,536,876	205,427	1,331,449
(うち団体)	954,543	174,854	779,689
(〃 個人)	582,333	30,573	551,760

6 その他の社会教育施設（令和6年10月1日現在）※令和6年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	197	35	162
職員数	615	84	531
(うち本務)	261	34	227
(〃 兼務)	49	15	34
(〃 非常勤)	305	35	270
利用団体数	77,034	5,847	71,187
利用者数	1,840,475	207,950	1,632,525
(うち団体)	1,753,191	187,003	1,566,188
(〃 個人)	87,284	20,947	66,337

第4節 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

第1 部活動や地域と連携した取組などを通じた民俗芸能の保存と継承

民俗芸能の保存・継承を促進するため、児童生徒の部活動や地域と連携した取組などを通じた活動を推進した。

児童生徒の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

1 第47回岩手県高等学校総合文化祭

[単位：人]

部門	期日	会場	参加校数等	入場者数
郷土芸能	令和6年10月12日	北上市文化交流センター	15校 370人	212

2 第48回全国高等学校総合文化祭

[単位：人]

部門	期日	会場	派遣学校名（派遣生徒数）
郷土芸能	令和6年8月3日～5日	土岐市文化プラザ	宮古水産高等学校（12） 岩泉高等学校（31）

3 令和6年度セミナーサポート事業

部門	期日	会場	参加校数等
郷土芸能	令和6年10月12日	北上市文化交流センター	15校 370人

4 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】

（1）第23回岩手県中学校総合文化祭

[開催日] 令和6年11月22日（金）～25日（月）

[会場] トーサイクラシックホール岩手

舞台発表部門 出演学校数等:13校、2個人（15演目）<1日間>

展示発表部門 出展作品総数:2,085点<4日間>

（2）第24回全国中学校総合文化祭山口大会への派遣

[開催日] 令和6年8月22日（木）～23日（金）

[会場] 下関市シーモール

舞台発表部門出演: 1校

展示発表部門出品:10作品

第2 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していくよう様々な取り組みを支援した。

また、令和3年3月に策定した「岩手県文化財保存活用大綱」に基づき、地域における文化財の保存・活用アクションプランである「文化財保存活用地域計画」の作成に向けた市町村の取り組みを支援した。

1 文化財の保存と管理

（1）岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期日	会場	審議事項
第1回	令和6年9月6日	盛岡地区合同庁舎 大会議室	岩手県指定文化財の指定等について（2件）

第2回	令和7年2月7日	トーサイクラシックホール岩手 第2会議室	岩手県指定文化財の指定等について(1件)
-----	----------	-------------------------	----------------------

(2) 文化財の指定等

令和6年10月29日 岩手県教育委員会告示第3号

指定番号	名称	所有者	備考
史第46号	黒山の昔穴遺跡	個人	国指定文化財への指定に伴う解除

令和6年11月19日 岩手県教育委員会告示第4号

指定番号	名称	員数	所有者
有第275号	猪川観音長谷寺絵馬群	16面	宗教法人 長谷寺

令和6年11月19日 岩手県教育委員会告示第5号

指定番号	名称	員数	所有者
有民第34号	二戸金田一・浄法寺の子安信仰資料と助産用具	116点	二戸市 個人

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか10件	198,455	41,028
県指定文化財・修理・防災事業	陸前高田市ほか9件	55,960	27,804

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
特別天然記念物カモシカ食害対策事業	大槌町	1,146	435

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種別	名称	実施期日
有形文化財	猪川観音長谷寺絵馬群（大船渡市）	令和6年6月29日～30日
有形民俗文化財	二戸金田一・浄法寺の子安信仰資料と助産用具（二戸市）	令和6年7月19日
有形民俗文化財	久慈・山形の牛方関係資料	令和6年7月30日
有形文化財	三浦命助関係資料	令和6年8月31日
		令和6年11月24日
有形文化財	青銅擬宝珠	令和6年10月21日
天然記念物	米田浜津波堆積物	令和6年11月11日～12日

イ 文化財パトロール事業 【総事業費】 1,669千円

ウ カモシカ特別調査事業 【総事業費】 232千円

エ カモシカ通常調査事業 【総事業費】 1,090千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【令和6年度登録件数】 96件 【総登録件数】 34,536件

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名（遺跡名）	調査地区	調査面積
一般国道4号水沢東バイパス事業（中林下遺跡）	奥州市	2,390m ²
経営体育成基盤事業 東田西部地区（中井遺跡）	奥州市	1,320m ²
農業農村整備事業 太田地区（折居遺跡）	花巻市	3,300m ²
農地中間機構関連整備事業 原・蟹沢地区（堀切後遺跡）	金ヶ崎町	700m ²
畠地帯総合整備事業（上野々遺跡）	二戸市	160m ²
地域連携道路整備事業（弥栄XIII遺跡）	洋野町	1,750m ²
北上北部産業業務団地造成事業（岡田遺跡）	北上市	56,500m ²
林業関連施設整備（中坪Ⅲ遺跡）	住田町	3,570m ²
個人住宅建設（和野I遺跡）	田野畠村	200m ²

イ 試掘調査

事業名	調査地区
秋田自動車道付加車線事業	西和賀町
一般国道4号金ヶ崎拡幅事業	金ヶ崎町
一般国道4号北上花巻道路	北上市
一般国道106号宮古横断道路田鎖墓目道路	宮古市
地域連携道路整備事業	北上市
道路環境改善事業	盛岡市
基幹河川改修事業	田野畠村
周辺環境整備事業	八幡平市
経営体育成基盤整備事業 姉帶地区	一戸町
経営体育成基盤整備事業 小山中央北地区	奥州市
経営体育成基盤整備事業 新山南地区	一関市
経営体育成基盤整備事業 小山中央南地区	奥州市
農業農村整備事業調査 八幡谷地地区	奥州市
農業農村整備事業調査 平野原地区	遠野市
花南地区産業団地整備事業	花巻市
移住定住促進住宅整備事業	西和賀町
個人住宅新築工事	田野畠村

など合計27件56遺跡（可能性あり含む）

ウ 分布調査

事業名	調査地区
道路改築・改良関連	宮古市、一関市、大槌町、軽米町、西和賀町ほか
河川改修事業関係	釜石市、住田町、一戸町
圃場・農地整備関係	一関市、奥州市、花巻市、雫石町、大槌町
森林保全関係	一関市、八幡平市、金ヶ崎町、野田村
急傾斜地・砂防事業等	一戸町、岩泉町、住田町、山田町

など合計34件72遺跡（可能性あり含む）

(2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

- ・発掘調査等 11市4町（計15自治体）で実施

(3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実【埋蔵文化財センター受託事業】

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、広報誌の発行や研修会の開催によって文化財の普及活用に取り組み、管理運営や教育普及活動事業の充実を図った。

ア 発掘調査【計8遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所	奥州市	中林下遺跡
岩手県 県南広域振興局農政部	花巻市	折居遺跡
	奥州市	中井遺跡
	金ヶ崎町	堀切後遺跡
	県北広域振興局農政部	二戸市 上野々遺跡
県北広域振興局土木部	洋野町	弥栄XⅢ遺跡
北上市	北上市	岡田遺跡
住田町	住田町	中坪Ⅲ遺跡

イ 報告書の発刊【計3遺跡】 3冊、各300部発刊

委託元	所在地	遺跡名
県南広域振興局土木部	奥州市	境遺跡・山下遺跡
花巻市	花巻市	山ノ神Ⅱ遺跡
北上市	北上市	広表遺跡

ウ 調査報告書（令和6年度概要）

令和6年度発掘調査略報 300部

エ 普及事業

(ア) 第45回埋蔵文化財展

【期間】令和6年11月2日～4日

【場所】大槌町文化交流センター

【内容】令和6年度の調査成果の速報展示を主体として、昭和62年及び平成以降に（公財）埋蔵文化財センターが実施した大槌町内の発掘調査の成果について、出土した遺物や写真パネル等で展示し、埋蔵文化財の魅力に触れる機会を創出した。

【参加者】465人

(イ) 令和6年度埋蔵文化財公開講座

【期日】令和7年1月25日

【場所】アイーナ 小田島組☆ほ～る

【内容】講演「日本人と食の関わり～自然の恵み、人々の知恵」

国立科学博物館 館長 篠田 謙一 氏

【参加者】177人

(ウ) 第44回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】令和6年12月13日

【場所】岩手県工業技術センター

【内容】『デジタル技術を活用した遺構・遺物の調査方法』

山形県埋蔵文化財センター 水戸部 秀樹 氏

【参加者】40人

(エ) 所報「わらびて」の発行

【内容】年2回発行（150号～151号）

県教育委員会及び（公財）埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の埋蔵文化財関係事業等についての情報掲載を行った。

3 文化財の積極的な活用

遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当者に対して必要に応じて指導・助言を行った。

- ・遺跡台帳の改訂（電子化）
- ・遺跡基本図の改訂（電子化）
- ・台帳、基本図の複製配布及びWEBでの公開
- ・現地確認調査等の事前協議

- ・市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言
- ・文化財保護法関連諸文書類処理

第3 柳之御所遺跡の調査・整備

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくことの一つとして、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組を着実に推進した結果、中尊寺ほか4資産が「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として平成23年に登録された。

現在、柳之御所遺跡ほかの関連資産を追加登録するための調査を平成25年から継続実施している。

柳之御所遺跡については、奥州藤原氏の政庁として仏国土（浄土）建設の拠点となった場所であり、その顕著な普遍的価値を来訪者にわかりやすく伝えることができるよう、史跡公園としての整備活用を推進してきた。令和3年度開館の平泉世界遺産ガイダンスセンターと史跡公園との一体的な活用を図るほか、令和5年度に作成した整備基本設計を基に整備のための以降詳細検討を行った。

1 柳之御所遺跡整備調査事業

奥州藤原氏の政庁「平泉館」と推定されている柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。併せて調査整備推進会議を開催した。

【総事業費】 57,115千円

2 平泉文化研究機関整備推進事業

令和2年度に作成した研究計画に基づき、岩手大学や国機関の研究者等と共同研究を行い、研究計画を更新した。また、平泉学フォーラムなどの開催により、共同研究の成果を広く発信した。

【総事業費】 4,000千円